

# 羽根井小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

- 当校は、「羽根井再発見—地域を愛し、ともに生きる羽根井っ子の育成—」を活動テーマとし、地域に密着した学習を系統的に行うことを柱とし、ESDの実践を通して「人間性豊かな羽根井っ子」の育成を目標とした。
- ①地域とかかわる活動、②地域の文化や歴史に触れる活動を行った。

## • 活動の実際

### ① 地域とかかわる活動

1年生は、コロナ前は例年、地域のお年寄りに2時間目後の20分の休み時間に来ていただき、「ふれあい広場」で交流していた。こま回しやお手玉などの昔遊びを教えてもらい楽しく活動することができていた。

2年生は、例年「お年寄りを楽しませよう」をテーマに、学校に隣接する老人福祉施設「明陽苑」を訪問し、高齢者と触れ合う活動を行っている。しかしコロナの影響で今は、子どもたちが手紙と折り紙で作った掲示物を送るといった交流に変更している。

3年生は、「ぼくたち、わたしたちのまち 大すき羽根井」をテーマに、校区のお店や地域の店舗で働く人たちが校区に住む人々のことを思っていることや、自分たちも地域の一員として、大切にされていることや羽根井の未来を考えたいという気持ちを高めることができた。

5年生は「守ろう！大切な命～今できる災害への対策を知ろう～」をテーマに、調べ学習や出前授業から校区の防災対策について理解を深め、自分で命を守る方法や自助・共助のありかたについて学び、地域防災への関心を高めることができた。



明陽苑のお年寄りへ「元気に過ごしてね。」とメッセージを渡しに行った2年生。



羽根井公園で防災用ポンプを体験する5年生。

### ② 地域の文化や歴史に触れる活動

4年生は社会科「ごみの処理と利用」で、ごみを減らすことの大切さを学んだ。出前講座では、ごみ収集をしてくれる方の話を聞き、ごみ収集の体験を行った。そこで、「未来をつくるわたしたち」を総合的な学習の時間のテーマとし、環境を守っていくために、自分たちにできることを考えた。調べ学習や見学により、美しい町を維持しようとする地域の人の努力を感じることができた。自分たちも羽根井校区の一員として、美しい町を守っていききたいという気持ちを高めることができた。



ごみ収集車を見学する4年生

6年生は、「届けよう！豊橋プライド！～豊橋ってこんなにいい町だよ～」をテーマに、豊橋の魅力について調べ、福島市立福島第三小学校との交流を行った。豊橋の魅力伝え、福島第三小の友達から意見やアドバイスもらった。豊橋の伝統や文化、産業を支える人たちの思いや誇りを感じ、故郷豊橋への思いを養うことができた。



福島第三小学校とオンライン交流する6年生